



# 初めに負荷ありき

Life As It Should Be

永田円了

人生を生きるには、二つの視点がある。

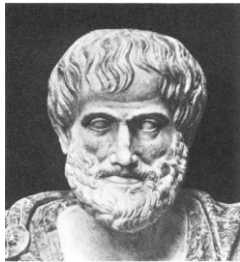
一つは、すべてを自分の意志に従って生きる“自由で独立した自己を生きる道。(Life as I want to be)  
もう一つは、人生を自分に与えられた物語として捉え、“負荷ありき自己”を生きる道。(Life as it should be)

## 自由な人間とは：哲学者カントの考え

自由とは、自分が自分に与える法則に従って行動すること。自分の目標は、自分で選ぶ。人間は、自分で選ばない限り、いかなる道徳的なつながりにも縛られることはない。人間は、自らつくり出した義務によってのみ、自らを律する。私とは、自らこうありたいと選んだ存在である。



カント



アリストテレス

## 自由な人間とは：アリストテレスの考え

人間は、自己のもって生まれた能力を発揮する場がある限り、自由なのだ。人間は、本質的に物語を紡ぐ動物である。「私は何をすべきか」という問いに答えるには、まず「私はどんな物語の中で自分の役割を果たそうとしているのか」の問いに答えなければならない。自己とは、たえず負荷をかけられている存在である。

## 生命の基本仕様は女である

地球が誕生したのが46億年前。そこから最初の生命が誕生するまでおよそ10億年が経過した。そして生命が現れてからさらに10億年、この間、生命の性は単一で、すべてメスであった。本来、すべての生命はまずメスとして発生する。メスは太くて強い縦糸であり、オスは、そのメスの系譜を時々横渡りする、細い横糸の役割を果たす“使い走り”にすぎない。(福岡伸一著『できそこないの男たち』光文社新書)



男の役割：稼ぐ、守る、育む

女の役割：産む、育てる、成長する

### <事例>

ハーバード大学白熱教室① カント vs. アリストテレス

自由で独立した自己 vs. 負荷ありき自己

NHK「おやしたちの夏」9/3/2010 男の役割：稼ぐ、守る、育む、

1979年アメリカ映画「クレイマー・クレイマー」

稼ぐことだけに生きていた夫、ある日突然負荷をかけられる

福岡伸一著「できそこないの男たち」光文社新書／生命の基本仕様は女である

黒澤明監督作品「わが青春に悔いなし」原節子主演 1946年制作

“負荷ありき自己”に目覚め、成長する主人公幸枝

円了のホームページ：[www.enryo.jp](http://www.enryo.jp)

